

正誤表 (2008年7月8日 version)

- 第1章 10 ページ 「こちらは大気バリアー」の節 1行目
誤：金星や火星では、惑星の磁場が非常に強いため、
正：金星や火星では、惑星の磁場が非常に弱いため、
- 第3章 29 ページ 下から2行目
誤：まわっているといものでした 正：まわっているといものでした
- 第3章 34 ページ 3段落 1～2行目
誤：オリオン星雲(図 3-1)の可視光では暗黒に見えている部分(図 3-2 左)には、
正：オリオン星雲(図 3-2 左)の可視光では暗黒に見えている部分には、
- 第3章 38 ページ 下から7行目
誤：127 光年 正：127 億光年
- 第4章 45 ページ 図 2-2 キャプション
誤：超新星の見かけの明るさと、その超新星が発生した時間
正：超新星の見かけの明るさと、その超新星の後退速度
- 第5章 50 ページ 9～11行目
誤：広帯域アナログ域アナログデジタル波動伝搬ベクトル観測装置等
正：広帯域アナログ受信機やユニークなデジタル波動伝搬ベクトル観測装置等
- 第6章 62 ページ 1行目 (節タイトル)
誤：OH 夜光除去分光器(FMOS) 正：OH 夜光除去分光器
- 第7章 78 ページ 図 4-2 キャプション
誤：名月記 正：明月記
- 第10章 106 ページ 章タイトル
誤：シュミレーション 正：シミュレーション
- 第10章 107～119 ページ ヘッダー (章タイトル)
誤：シュミレーション 正：シミュレーション
- 第10章 114 ページ ジェットの小節 5行目
誤：京都大学飛騨天文台のドームレス望遠鏡
正：太陽観測衛星「ひので」搭載の可視光望遠鏡
- 第10章 114 ページ ジェットの小節 7行目
誤：太陽内部のねじれた磁場 (ピンク) と表面に飛び出している磁場 (青) がリコ

ネクションを起こしてジェットを噴出しています

正：太陽内部から浮き上がってきた小さな磁気ループと表面の磁場がリコネクションを起こしてジェットを噴出しています

●第 10 章 120 ページ 図表番号

誤：図 5-2

正：図 6-2

●研究者列伝 130 ページ 松本紘

受賞歴を追加

1975 年 日本地球電磁気・地球惑星圏学会より田中館賞を受賞 1993,1998,1999

NASA Group Achievement Award

1999 年 志田林三郎賞

1999 年 国際電波科学連合(URSI)会長

1999 年 地球電磁気・地球惑星圏学会会長

1999 年 アメリカ地球物理学学会フェローに選出

2003 年 アメリカ電気電子学会フェローに選出

2004 年 英国王立天文学協会(RAS)外国人名誉会員に選出

2006 年 文部科学大臣表彰科学技術賞

2006 年 ロシア宇宙航行学協会よりガガーリン・メダルを受賞

2007 年 紫綬褒章

●協力者名簿 138 ページ 表 6 行目右 (地球物理学教室)

誤：齊藤昭則

正：齊藤昭則

●協力者名簿 138 ページ 表 7 行目左

誤：地磁気資料解析センター

正：地磁気世界資料解析センター

●協力者名簿 138 ページ 表 11 行目右 (生存圏研究所)

誤：橋本弘蔵

正：橋本弘蔵

●協力者名簿 138 ページ 表 16 行目右 (附属天文台)

誤：中岡美恵

正：中岡恵美

●協力者名簿 138 ページ 表 18 行目右 (宇宙物理学教室)

追加：阿南徹

●協力者名簿 138 ページ 表 19 行目左

誤：京都大学理学部学生

正：その他の院生 & 学生

●協力者名簿 138 ページ 表 20 行目右

誤：奥村純、峰山大、片岡章雄、衣川智弥、佐野友彦、木本泰裕、坊野慎治

正：(京大農学研究科) 池田邦彦、(京大理学部) 奥村純、峰山大、堀川博由、片岡章雅、上月友寛、衣川智弥、佐野友彦、木本泰裕、坊野慎治、(奈良女子大) 平山聡子、(京都女子大) 喜多真弓

●協力者名簿 139 ページ 表 2 行目右

誤：黒河宏企 (京都大学名誉教授、NPO 花山星空ネットワーク理事長)

正：黒河宏企 (京都大学名誉教授、NPO 法人 花山星空ネットワーク理事長)

●協力者名簿 139 ページ 表 4 行目右

誤：NPO 花山星空ネットワーク 正：NPO 法人 花山星空ネットワーク

●出典一覧 142 ページ 第 2 章図 5-1

誤：XRT 西田圭祐 EIS 西田圭祐 正：XRT 西田圭祐 EIS 西田圭祐

●出典一覧 143 ページ 第 5 章図 2-4 と 2-5

誤：図 2-4 と 2-5：Kasahara, Y., H. Uchiyama, and Y. Goto, “Whistler mode chorus observed around the plasmopause during magnetic storms”, *Frontiers of Magnetospheric Plasma Physics, COSPAR Colloquia Series*, 16, 228-234, 2004

正：図 2-4 と 2-5：Kasahara, Y., H. Uchiyama, and Y. Goto, “Whistler mode chorus observed around the plasmopause during magnetic storms”, *Frontiers of Magnetospheric Plasma Physics, COSPAR Colloquia Series*, 16, 228-234, 2005

●出典一覧 145 ページ 第 7 章図 5-1

誤：Tsuchiya et al. *ApJ Letter* 606, L115-L118, 2004

正：Tsuchiya et al. 2004, *ApJ Letter* 606, L115 (上)、小山勝二 (下)

●出典一覧 148 ページ 第 10 章図 3-2 以下

誤：図 4-1：上出洋介

図 4-2(左)：国立天文台/JAXA

図 4-2(中)(右)：井上諭

図 4-3：塩田大幸

図 4-4：片岡龍峰

図 4-5：萩野竜樹

(http://center.stelab.nagoya-u.ac.jp/web1/space_weather/index.htm)

図 5-1(左) : JAXA, (右) : 今里康二郎

図 5-2 : 三宅洋平

正 : 図 4-1 : 磯部洋明 (Isobe, H. et al. (2005) Nature 434, 478), 京大飛騨天文台

図 4-2 : 大山真満(Ohyama and Shibata (1998) ApJ 499, 934), ようこう SXT
(JAXA/ISAS)

図 4-3 : 西田圭佑 (Nishida et al. (2008) submitted), Shibata et al. (1995) ApJ
451, L83, 柴田・大山、写真集太陽 (裳華房、2004)

図 4-4 : 観測 : SOHO/LASCO(NASA,ESA) シミュレーション : 塩田大幸(博
士論文, Shiota et al. 2005, ApJ 634, 663)

図 4-5 : 西塚直人、清水雅樹 (Nishizuka et al. (2008) submitted),, ひので
XRT(JAXA/ISAS)

図 5-1 : 上出洋介、横山央明、萩野竜樹、星野真弘、大村善治

図 5-2(左) : 国立天文台/JAXA

図 5-2(中)(右) : 井上諭

図 5-3 : 塩田大幸

図 5-4 : 片岡龍峰

図 5-5 : 萩野竜樹

(http://center.stelab.nagoya-u.ac.jp/web1/space_weather/index.htm)

図 6-1(左) : JAXA, (右) : 今里康二郎

図 6-2 : 三宅洋平

●参考文献 149 ページ 第 3 章 7 行目

誤 : 戸谷友則「宇宙最電離研究の最近の進展」

正 : 戸谷友則「宇宙再電離研究の最近の進展」

●奥付

誤 : 発行 NPO 花山星空ネットワーク

正 : 発行 NPO 法人 花山星空ネットワーク